

野村ホールディングス株式会社
創立100周年 記念公演

ロンドン交響楽団2026

指揮 サー・アントニオ・パッパーノ

生と死を見つめた
マーラーの傑作「復活」。

藤倉 大

Amber Alchemy (世界初演)

マーラー

交響曲第2番 ハ短調「復活」

ソプラノ: マリア・ベンクトソン

コントラルト: ノア・ペイナルト

合唱: 東京混声合唱団



©Mark Allan

2026

9.30 (水)

19:00 開演 (18:00 開場)

フェニーチェ堺 大ホール

一般発売: 5月16日(土) 10:00

全席指定 (税込) <S席> 30,000円 <A席> 27,000円 <B席> 24,000円 <C席> 21,000円 <D席> 17,000円

チケット予約: 堺市文化振興財団チケットセンター **0570-08-0089**

またはフェニーチェ堺のホームページ、各プレイガイドほか

お問い合わせ フェニーチェ堺 072-223-1000 (9:00~20:00) [休館日]第1・3月曜(祝日の場合は翌平日)

※未就学児入場不可 ※D席は舞台前方が見えにくいお席となります。※やむを得ない事情により出演者・公演内容が変更となる場合があります。
※いずれ席は堺市文化振興財団チケットセンターでご予約ください。

主催 フェニーチェ堺 (公益財団法人堺市文化振興財団)

特別協賛 野村ホールディングス

後援 プリティッシュ・カウンシル

協力 大阪高島屋

Official Website



涙が溢れる瞬間、
魂が震える空間、
客席でしか味わえない感動を共に。



Sir
Antonio
Pappano

マーラー《交響曲第2番〈復活〉》

静寂から始まり、最後は大合唱が天へ昇るように響きわたる、壮大な“再生”のドラマ。
ロンドン交響楽団を率いて来日する名匠サー・アントニオ・パッパノーが、
その圧倒的スケールと人間味あふれる感情のうねりを描き出します。
そして世界が注目する作曲家・藤倉大による新作《Amber Alchemy》
(野村ホールディングス株式会社 創立100周年記念 委嘱作)は、今回が世界初演。
この瞬間にしか味わえない“誕生の音”を、ぜひホールでお聴きください。

サー・アントニオ・パッパノー Sir Antonio Pappano

2024年からロンドン響の首席指揮者。イタリア人の両親のもと、1959年ロンドンに生まれた現代最高の指揮者の一人である。英ロイヤル・オペラ、サンタ・チェチーリア管の音楽監督などを歴任。これまでベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、シカゴ響、ボストン響、ウィーン国立歌劇場、METなど世界の檜舞台で活躍する。2025/26年シーズンには、ロイヤル・オペラでの《ニーベルングの指環》も継続するとともに、ロンドン響とは《トリスタンとイゾルデ》を演奏会形式で上演する。録音の多くは国際的な賞を受賞。LSOライブにはエルガーやヴォーン・ウィリアムズの交響曲を録音する。2012年にエリザベス英国女王からナイトの称号(サー)を授与された。

©Frances Marshall

ロンドン交響楽団 London Symphony Orchestra

LSOは、1904年創設の英国最高にして世界屈指のオーケストラ。世代を超え、傑出した楽員たちによって伝統のサウンドをもち、良質で意欲的な音楽の喜びを分かち合っている。2024年からパッパノーが首席指揮者を、ラトルが名誉指揮者、ノセダ、ロトが首席客演指揮者を務める。本拠バービカンセンターを中心に年間70回を超えるコンサートを行い、世界の音楽都市も定期的に訪れる。また、教育&地域貢献プログラムである「LSOディスカバリー」、ライブストリーミングやオンデマンドによるインターネット配信、そして自主レーベル「LSOライブ」などでも世界各地の聴衆と交わっている。「スター・ウォーズ」や「マエストロ」など数々の映画音楽でも有名。

LSO London
Symphony
Orchestra



©John Davis



東京混声合唱団 The Philharmonic Chorus of Tokyo

1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演や青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ等への出演を行っている。レパートリーは幅広く、内外の古典から現代作品までと全合唱分野を網羅している。

©中村紋子



マリア・ベングトソン (ソプラノ) Maria Bengtsson, Soprano ©Simon Pauly

スウェーデン生まれ。フライブルク音楽大学で学ぶ。K.ベトレンコ、ヘンゲルブロックらの指揮でバイエルン放送響やNDRエルプフィルなどと共演し、マーラー「復活」やR.シュトラウス「4つの最後の歌」などを歌っている。オペラでも英ロイヤルオペラの《ピーター・グラймズ》エレン役や、バイエルン州立歌劇場の《フィガロの結婚》伯爵夫人、ドレスデン・ゼンパーオーバーの《ぼらの騎士》元帥夫人などを演じた。2025/26年シーズンにはI.フィッシャー指揮ブダペスト祝祭管による《ドン・ジョヴァンニ》でドンナ・アンナを、リヨンではS.ヤング指揮でツェムリンスキー「抒情交響曲」のソリストを務める。歌曲にも力を入れ、主要都市のホールや音楽祭に出演。



ノア・ベインルト (コントラルト) Noa Beinard, Contralto ©Charl Marais

テルアビブ生まれ。ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学で学ぶ。コントラルトとしてバロックから古典、ワーグナーまで広いレパートリーをもち、さまざまな時代や様式の間を自在に行き来している。パッパノー指揮による《エレクトラ》第1の侍女で英ロイヤルオペラにデビューを果たしたほか、ウィーン国立歌劇場の《ニーベルングの指環》エルタ役、ルセ指揮の《オランダ》のタイトルロールを歌い、チェリヒ歌劇場の《セルセ》などに出演。コンサートのソリストも務めることも多く、マーラーの交響曲ではメータ指揮の「第2」、P.ジョルダン指揮による「第8」、ほかにプラームス「アルト・ラブソディ」などを歌っている。

藤倉大 (作曲家)

Dai Fujikura,
Composer

大阪府生まれ。15歳で単身渡英しG.ベンジャミンらに師事。これまでに数々の作曲賞を受賞、国際的な委嘱を手掛ける。オペラの国際評価も高く、2015年にシャゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱による《ソラリス》を世界初演。20年に自身3作目のオペラ《アルマゲドン》がある。《The Great Wave》(北斎として知られていた芸術家の生涯に基づく全5幕のオペラ)が2026年2月、スコットランドで世界初演。23年に4度目となる尾高賞を受賞。近年の活動はリモート演奏のための作品発表や、テレビ番組の作曲依頼等多岐に渡る。録音はソニー・ミュージックジャパンインターナショナルやMinabel Recordsから、楽譜はリコルディ・ベルリンから出版。

<https://www.dafujikura.com/>

チケット予約 一般発売日 | 2026年5月16日(土) 10:00

WEB サカイメイト チケット 検索

TEL 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089

※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。

窓口 フェニーチェ堺チケット窓口 (9:00~20:00)

※窓口販売は5月19日(火)より、残席がある場合のみ。
※堺市立榊文化会館窓口でも購入できます。

プレイガイド チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:325-190]
e+(イープラス) <https://eplus.jp/sf/fenice-sacay>
ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:56512]

アクセス 〒590-0061 堺市堺区翁橋町 2-1-1
南海高野線 なんば～堺東 約10分
堺東駅から徒歩8分

公演に関するお問い合わせ フェニーチェ堺 072-223-1000(9:00~20:00) 休館日は第1・3月曜(祝日の場合は翌平日)
※この番号ではチケットのご予約は承っておりません。

